

| | | | | |
|---|---|---------------------------------|---|-------|
| 群馬工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和03年度(2021年度) | 授業科目 | 遺伝子工学 |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 5K018 | 科目区分 | 専門 / 必修 | |
| 授業形態 | 授業 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 1 | |
| 開設学科 | 物質工学科 | 対象学年 | 5 | |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 遺伝子工学－基礎から応用まで－：野島 博：東京化学同人：4-8079-0804-2 | | | |
| 担当教員 | 大和田 恭子 | | | |
| 到達目標 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 遺伝子工学について、その概念と基礎を理解できる。 <input type="checkbox"/> 遺伝子の発現機構とその調節について説明できる。 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え技術の原理について理解できる。 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え技術を用いた医薬品、遺伝子治療について説明できる。 | | | | |
| ループリック | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | |
| 評価項目1 | 遺伝子の発現機構とその調節について説明できる | 遺伝子の発現機構とその調節について理解できる | 遺伝子の発現機構とその調節について説明できない | |
| 評価項目2 | 遺伝子組換え技術の原理について説明できる | 遺伝子組換え技術の原理について理解できる | 遺伝子組換え技術の原理について説明できない | |
| 評価項目3 | 遺伝子組換え技術を利用した医薬品、遺伝子治療について説明できる | 遺伝子組換え技術を利用した医薬品、遺伝子治療について理解できる | 遺伝子組換え技術を利用した医薬品、遺伝子治療について説明できない | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | |
| 教育方法等 | | | | |
| 概要 | 遺伝子工学について、その概念と基礎を理解し、遺伝子組換え技術の原理について学習する。 遺伝子組換え作技術を利用した医薬品、遺伝子治療について理解するとともに、バイオテクノロジーにおける遺伝子工学の正しい知識を定着させる。 | | | |
| 授業の進め方・方法 | 講義および演習 | | | |
| 注意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業を休まないこと ・ノートをしっかりととること ・疑問点はその場で質問すること | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | |
| 授業計画 | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 1stQ | 1週 | 遺伝物質としてのDNA | 遺伝子の概念が理解できる。核酸の基本構造および遺伝物質の化学的性質が理解できる。 | |
| | 2週 | セントラルドグマ | アダプター仮説とtRNAの発見、mRNAの発見とセントラルドグマを理解できる。 | |
| | 3週 | 遺伝子組換え技術の誕生 | 遺伝子組換え法の原理が理解できる。 | |
| | 4週 | 制限酵素 | 制限と修飾、制限酵素の種類・遺伝子工学への利用についてわかる。 | |
| | 5週 | DNAを細工する酵素 | DNAメチラーゼの特徴、DNAリガーゼによるDNAの連結についてわかる。 | |
| | 6週 | DNAポリメラーゼ | DNAポリメラーゼの種類とDNA合成反応についてわかる。クレノウフラグメントがわかる。 | |
| | 7週 | RNAポリメラーゼ | RNAポリメラーゼの種類と触媒するRNA合成反応がわかる。 | |
| | 8週 | 逆転写酵素、末端核酸付加酵素、リン酸化・脱リン酸化酵素 | 逆転写酵素とその反応、cDNA、TdT、BAP、CIPについてそれらの反応とともに理解している。 | |
| 前期 | 9週 | プラスミド | プラスミドおよびプラスミドの種類がわかる。プラスミドベクターの基本構造がわかる。α相補の原理がわかる | |
| | 10週 | バクテリオファージ | バクテリオファージの基本構造と種類がわかる。λファージの生活環と複製のしくみがわかる。遺伝子組換えにおけるλファージベクターの利用についてわかる。 | |
| | 11週 | 大腸菌を宿主としたベクター系 | 混成ベクターとして、コスミドベクター、ファージミニドベクターがわかる。出芽酵母を宿主としたベクター系がわかる。 | |
| | 12週 | 遺伝子操作における宿主の性質 | 宿主として持つべき性質を理解している。 | |
| | 13週 | 宿主の制限系と組換え系 | 大腸菌K-12株における代表的な制限系とそれを規定する遺伝子がわかる。組換えに関する遺伝子についてわかる。 | |
| | 14週 | 形質転換 | 大腸菌を宿主とした形質転換についてわかる。動物培養細胞の形質転換について各種転換方法がわかる。 | |
| | 15週 | ウィルスベクターと遺伝子治療、遺伝子工学の医薬品への応用 | ウィルスベクターの種類と特徴がわかる。遺伝子治療への応用についてわかる。遺伝子工学技術を利用した医薬品についてわかる。 | |
| | 16週 | | | |
| 評価割合 | | | | |
| | 試験 | 発表 | 相互評価 | 態度 |
| | ポートフォリオ | その他 | | 合計 |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|----|-----|
| 総合評価割合 | 80 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 100 |
| 基礎的能力 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 50 |
| 専門的能力 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 50 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |